

目標達成計画

作成日: 平成24年11月3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	各事業所で広報誌を発行しているが、全事業所の活動又共通記事が一目で分かるようにすることで、法人全体の利用者・入居者の家族に情報を伝えたい。	法人全体の広報誌の発行	広報委員会を各事業所から選抜して、月1回委員会を開催し、各事業所の記事を持ち、年に3~4回発行する。	2ヶ月
2	3	当施設に隣接する住宅団地は約30年以上が経ち、そこに住む方々が高齢化している。又高齢者二人暮らしが顕著に見受けられるのが現状で何時かわ認知症に直面することを憂う。そのためにも地域で支え合う地域作りが必要不可欠である。	認知症対応型共同生活介護の事業所として、地域にたいし認知症への啓蒙、啓発を行う。 (認知症サポーター養成講座など)	事業所として、認知症サポーター養成講座を開催するために「キャラバン・メイト」養成研修を受講する。	3ヶ月
3	12	民家改修型の施設であるため台所周辺の環境を整えないと入居者に調理の手伝いを行ってもらえないのが現状である。長年経験されてきた日常生活面の欠如を防ぐため。	台所の周辺環境整備をし、入居者・職員が共に安全・安心して、調理ができるようにする。	物理的には食器棚の整備をし、衛生面に配慮したスペース造りと、危険性から火器類がある場所への出入りを制限し、入居者と職員が共同で調理作業の出来るスペースを造る。	5ヶ月
4	54	民家改修型のため隣居室との間が防音対策が完全でないため。又畳の居室があり清潔を維持のが至難なことがある。	間仕切りを防音材を使用し、畳はフローリングに改修する。	資金面から長期計画を立案して、出来ところから手をつけて改修する。	24ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。